



私は誠実に行動します

Celestica Business Conduct Governance



Values

チームワーク

より良い未来の実現のために、私たちはお互いを理解し合い、学び合い、協力し合います。

独創性

私たちは創造性、革新性、成果を重視する高い基準を持ちます。

自信

私たちは常に解決を模索し、誇りを持って業務にあたります。

信頼関係

私たちは責任感と誠実さと他者への敬意を兼ね備えた信頼されるパートナーとなります。

目次

CEOメッセージ Rob Mionis	1
はじめに	2
倫理に基づいた行動	3
記録と財務報告	4
差別、ハラスメント、薬物乱用に関するCelesticaのポリシー	5
倫理判断基準	6
事業活動と地域社会貢献	7
公正な取引—顧客および業者	7
賄賂および贈答品に関するCelesticaのポリシー	8
企業賄賂について	9
利害対立の回避	10
良き企業市民としてのCelesticaの評判	11
社有資産の保護	12
Celesticaの資産の利用規定	12
秘密保持および個人情報保護	13
法遵守、個人的説明責任および違反	14
インサイダー取引	14
取引コンプライアンス	15
隠さずに話し、助けを求める	16
違反の報告方法	16



CEOメッセージ

Rob Mionis

従業員の皆様

Celesticaでは、高い評価が最も価値のある資産と考えています。その中核となるのが、チームワーク、独創性、自信、信頼関係というキーバリューを持つ世界中の従業員です。

Celesticaは、従業員がお互いに、そして顧客、サプライヤー、パートナー企業、株主、地域社会とともに、倫理的かつ責任を持って協働できるよう全力を注いでいます。そういった会社で働いていることに誇りをもってほしいと考えています。

これを達成するために、私たちはバリュー、企業行動指針(BCG)とResponsible Business Alliance(RBA) 行動規範に記された経営倫理を遵守します。これらのポリシーを通じ、私たちはすべてを正しく誠実にを行うための基準を設定しています。

私たち一人一人が、この組織の誠実さを確保する上で重要な役割を果たしています。当社の倫理基準に反する振る舞いや行動を報告することは、私たちが共に担っている責任です。従業員は、倫理規定に関する質問や懸念事項がある場合、上司、人事部、または compliance@celestica.com にメールすることを推奨されています。また、Celesticaの無料の倫理ホットラインまたは安全なオンラインウェブツールにて懸念事項を報告することができます。

誠実に行動することこそ、私たちが皆誇りを持って働けるCelesticaであり続けることに繋がります。Celesticaがお客様にとって信頼できるパートナーであり、倫理的かつ責任のある企業市民としての高い評価を維持していけると確信しています。

皆様のコミットメントに感謝いたします。

Rob Mionis

社長兼最高経営責任者 (CEO)

はじめに

Celestica は、信頼性の高い関係を築き、複雑なテクノロジーの課題を解決することで、顧客が価値と可能性を高め、よりよい結果を得るためのお手伝いをします。この約束を実現するため、私は誠実に行動し、同僚、顧客、サプライヤー、パートナー企業、株主、地域社会に倫理的かつ責任をもって対応します。

本 BCGポリシーは、私が Celestica 社員として誓約し、責任を果たす必要のある Celestica の企業活動へのアプローチと倫理・法令遵守基準を説明しています。この誓約は社員としての誇りだけではなく、私たちが何者であるかの礎となるものです。BCGは、私たちに求められている基準を明確にし、例を挙げてポリシーの意味を説明しています。また、こういったときに質問し、どこに相談し、なぜ私たちにとって倫理的で法を遵守する行動が重要なのかを説明しています。

私は、BCGに違反した場合、懲戒処分を受けることがあり、この最も重い処分として解雇が含まれていることを理解しています。

倫理に基づいた行動

倫理はCelesticaバリューのカギを握る部分です。倫理的行動とは、正しいことを行うという意味です。私たちは皆、自分自身のために、そしてCelesticaのために正しいことを行いたいと思っています。BCGは、Celesticaや同僚、顧客、サプライヤー、政府、そして地域社会に対する私の責任を明確にし、私の行動の指針となります。

私は誠実に行動します

私は自分の言動の一つ一つが私の、そしてCelesticaの評判を左右することを自覚しています。私は、自分の言動がCelesticaの利益や評判を損なうことに繋がる場合は、最も重い処分として解雇を含む懲戒処分を受けることがあることを理解しています。私は、BCGを含むバリューやポリシーを遵守することを誓約します。私は、同僚、顧客、サプライヤー、競合他社、地域社会に対して誠実に、そして公正に対応します。

私の発言の責任はCelesticaにではなく、私自身に帰するものです。

私は、その権限を与えられた場合を除いて、メディアやインターネットのソーシャルネットワークツール等を介してCelesticaに関する公的な発言を行ってはいないことを理解しています。私は、公的にCelesticaを代表、あるいは代弁する権限を与えられた場合を除いて、メディアあるいはそれ以外の人物や団体からの会社に対する質問や問合せは広報担当部門に転送しなければならないことを理解しています。

私は企業会計の健全性を守ります

公開会社として、Celesticaの記録や会計は会計方針の基準と内部統制方針に準じている必要があります。私は、帳簿や記録、会計について、虚偽あるいは誤解を招く恐れのある記述を絶対に行いません。私は一切の監査や調査について、内部あるいは外部調査機関の監査官や担当者に全面的に協力し、偽りのないかつ正確な情報を提供します。私は、法律で、あるいは調査の一環として求められた文書や記録を隠匿、改ざん、破棄しません。私は、自分が担当する業務記録を、Celesticaのレコードマネジメントポリシーに従って確実に取り扱います。

私は、Celesticaの社員として、以下の事柄がBCGにおいて私に対して求められていることを理解しています：

- 約束を実行することで、カスタマーロイヤリティを勝ち得ること
- 法令を遵守し、かつ倫理的に事業活動を展開すること
- Celesticaにとって最も利益になる選択を踏まえて企業としての決断を下すこと
- 事業活動に関する懸念事項等があれば即座に報告すること
- 法を遵守すること



不誠実な報告の一例：

スーは、成人した子供のための医療手当を請求するため、子供がフルタイムの学生であるという内容の申請書を提出しました。しかし、申請の時点で子供達は既に学校を修了していました。虚偽の申請書を提出することで、スーは倫理に反する行動を取ると同時に、会社に対しても背信行為を行っています。

私は会社に対して正確かつ誠実な報告を行います。

正確かつ完全な企業の、そして会計の記録を残すことは会計・財務担当部署の社員のための役割ではありません。Celestica では、勤務表や経費報告書、諸手当申請書、履歴書などを含むすべての記録を正確に記述することは社員一人ひとりの責任です。正確な記録を取り、誠実な報告書を作成することで、Celesticaの評判を守り、法令や規則などを遵守できるのです。私は、不正確な、あるいは誤解を招く情報を提出することは、Celestica および私自身に対する民事または刑事訴訟に発展する可能性があることを理解しています。

私は倫理を遵守するリーダーです。

Celesticaのマネージャーとして、私は倫理を遵守するリーダーであることが求められています。よき手本となり、報復を恐れることなくオープンで率直なコミュニケーションができる環境を推進し、倫理的問題に気付いた場合は迅速に対処します。マネージャーは、誠実な姿勢の手本を示すことが求められ、Celesticaのポリシー、BCG、法律に違反した行動を取ることで成果を出すように部下に指示することは絶対にありません。また、Celesticaを代表して、さまざまな取引を速やかに承認する責任があります。マネージャーとして、私はポリシー要件が満たされていることを確実にしなければなりません。倫理的な行動やCelesticaのポリシー、BCG、法律の遵守よりも業績が重視されることがあってはなりません。

良好な職場環境の実現

私は差別やハラスメントのない環境を支持します。

Celesticaは素晴らしい職場です。それは安全で清潔、健全で安心な環境に全員が貢献し続けてこそ成り立ちます。人種、肌の色、宗教、性別、性別認識、出身国や出自、年齢、障害、性的嗜好、既婚/未婚などに基づいた差別やハラスメントのない企業文化に、全員が責任を負っています。Celesticaは、職場における性的な誘いかけ、性的行動、セクハラ発言など、人を傷つけたり脅す言動を一切認めません。安心・安全な職場とは、暴力のない職場でもありません。Celesticaには、脅迫(明示的・暗示的)、脅し、暴力の存在余地はありません。上記の言動に気付いたり、経験した場合、私にはすぐに報告する義務があります。

私は薬物乱用のない職場を支持します。

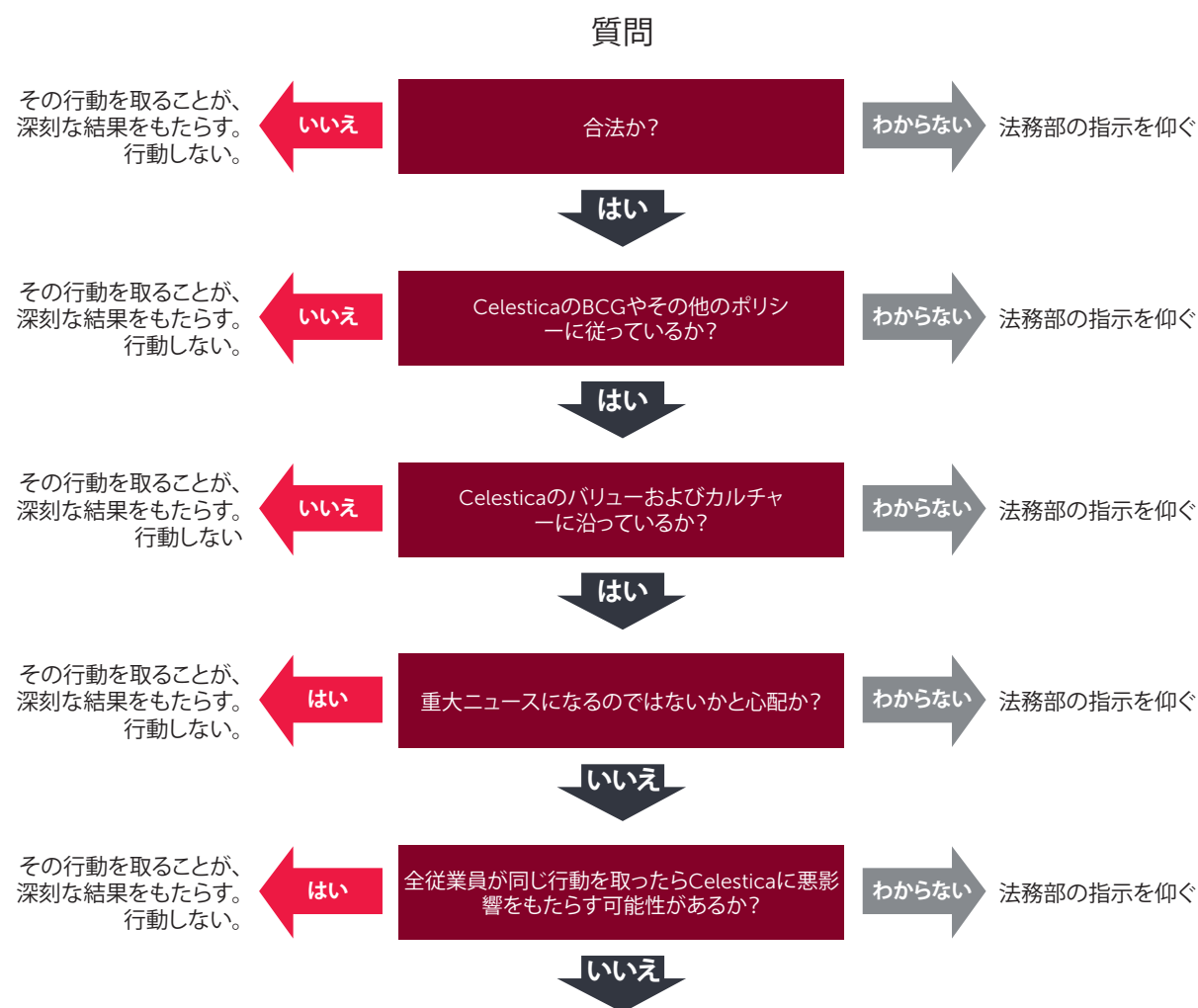
アルコール、薬物、その他の酒気類は、仕事能力を妨げる可能性があります。Celesticaは、適用法に従って酒気類のない職場作りに専心しており、敷地内での違法または不正なアルコール類、薬物、その他の酒気類の配布、所有、使用を禁じています。さらにCelesticaは、従業員の判断や意思決定が明確であり、アルコール類、酒類、その他の酒気類によって損なわれないことを求めています。酒気類の使用は従業員の仕事や意思決定能力に影響を及ぼすだけでなく、他者の安全や事業の健全性を大きなリスクに晒す可能性があります。

不適切な言動の例:

グレースとホセはワークショップに参加しました。チームビルディングセッションの終了後、他の参加者にアダルトエンターテイメントに行こうと誘われました。2人はみんなと一緒に行きましたが居心地が悪く、場違いだと感じました。Celesticaを代表する立場でそのような店に行くことは、CelesticaのバリューにもBCGにも反しています。トラベル&エンターテイメントポリシーに基づき、そのような店に行った費用の精算は認められません。

倫理問題の判断基準

判断が難しい状況では、下記の判断基準を参考にしてください。



行動を起こしても構わないと考えられる。

事業活動を通じた社会貢献

私は公正な取引を行うことを誓約します

Celestica では、顧客、サプライヤー、教育機関、政府、地域社会など、さまざまな人や団体との取引があります。競合他社を含め、私が事業活動を行う、あるいは接する全ての人に対し、公正な態度で臨みます。明確で誠実なコミュニケーションこそが、倫理的な言動に繋がり、Celestica内でも、外部のパートナー企業とも、良好で持続的な関係を構築するカギとなることを理解しています。私は、誰に対しても、私自身あるいは Celestica について事実と異なる内容を伝えません。

Celesticaのバリューは、サプライヤーも私たちチームの一員として認識しています。つまり、私は、すべてのサプライヤーを公平に扱い、特定のサプライヤーに便宜を図ったり、あるいは特定のサプライヤーから便宜を受けるために、自身の影響力を行使することはありません。公平な選定手順を厳守することで、サプライヤーは私たちの企業としての一貫性に信頼を置き、またそれによってサプライヤーとの良好な関係を維持することができます。

私は、競争相手の権利を尊重します。

Celestica は公正でオープンな競争が健全な企業運営に繋がると信じています。私たちは全力で競争しますが、同時に、どこで事業を行う場合でも、適用される独占禁止法および競争法を遵守します。私は競合他社の権利を尊重し、競合相手を公平に扱います。私は、Celesticaのポリシーに基づいて、自社商品やサービスの長所を説明することで営業活動を展開します。私は虚偽の、あるいは誤解を招く発言を行いません。

時に、一企業が顧客やサプライヤーであると同時に競争相手である場合があります。また、時によっては競争相手と会ったり、連絡を取ったり、業界内の同じ催しに出席することがあるかもしれません。私は、競合他社との関係や、これらの状況に配慮して行動します。

私はCelesticaの機密情報を競争相手に開示しません。また以下の合意を交わしません：

- 価格談合
- 価格や利益率、コスト、販売条件、顧客、販売促進活動、割引、マーケティングあるいは戦略計画等の情報の共有
- 販売機会や販売テリトリーの分配
- 互いの顧客を勧誘しない
- 競争入札における不正操作
- 競争入札における不正操作、あるいは
- 特定のサプライヤーあるいはベンダーに対する購入拒否



賄賂にはこのような例があります：

マークは Celestica の買付担当です。サプライヤーの一人、ボブがマークに対して、競合するサプライヤーとの取引を停止してボブの会社にその分の注文をしてくれば、マークに何がしかの「特典」をつけると申し出ました。

私は、賄賂や贈答品に関する Celestica のポリシーを理解しています。

私たちのポリシー、および私たちが事業を展開するほとんどの国の法律において、賄賂はいかなる目的でも禁じられています。賄賂の例には、現金の直接受け取り、リベート、経費に偽装した領収書等があります。

ベンダーやサプライヤー等からの商品やサービスの買い付けに関する決定は、価格や品質、信頼性などの基準に基づいて下され、また顧客に対しても同様の基準をもとに私たちの商品やサービスの購入決定を下すことを求めます。私は、金品のやり取りや娯楽の提供を介在させることが、客観性や判断を鈍らせる危険に繋がることを理解しています。私は、以下の条件に合致する場合に限って、贈答品や食事、サービス、娯楽などを提供したり、受けたりすることがあります。

- 頻繁ではなく、また金額が大きくないもの
- 諸法令に違反せず、また一般的な商習慣や儀礼の範囲に収まるもの
- 贈答を行った相手に対して私が何らかの義務を負う立場にならないこと
- 現金を含まないこと
- 公務員からの、あるいは公務員への贈答ではないこと

贈答品のやりとりについては、「金額が大きくない」というのがどの程度かを定義するのは必ずしも易しいことではありません。これらの状況では、私は以下を自問し、自分の良識をもって判断します。

- 私が贈り物をしようとしている相手側は、贈り物を受け取ってはいけないという職場の規定がありますか？ 疑問があれば、確認します。
- これは正しいことでしょうか？ 正しくないなら、受け取らず、贈らないようにします。または、事前に上司等の判断を仰ぎます。
- 贈答品の返品や拒否が失礼に当たる国では、それを受け取ってもよいのでしょうか？ 贈答品の拒否が無礼となる国もあります。この場合は贈答品を受け取り、すぐに上司に相談してその取り扱いについて指示を仰ぎます。



Celesticaは賄賂を支払うくらいなら、事業機会を犠牲にしても構わないと考えます。以下のシナリオを検討してみましょう。

Q&A

Q1: Celesticaの経営陣に会うために、東南アジアからCelestica本社への出張を計画している顧客がいます。顧客は出張費を全額、Celesticaに支払ってもらいたいと言っています。これには出張中の個人的費用も含まれます。支払いを認めてもよいでしょうか？

A1: 認められません。観光や家族の旅費など、ビジネスに関係ない顧客の費用を払うことはできません。賄賂となる可能性があるため、このような要求には応じられません。経費の精算は、(1) 純粋なビジネス目的に関連したものに固く限られ、(2) 妥当で、(3) すべての適用法およびCelesticaのポリシーに基づいて容認できるものであることを条件とします。

Q2: 現地の政府関係者と良好な関係を築くために、代理人を利用しています。最近、代理人の責任範囲の拡大や追加業務を依頼していないにもかかわらず、料金の大幅値上げを打診されました。現地の政府関係者にその金銭を渡すのではないかと疑われます。どうしたらよいでしょうか？

A2: 代理人がCelesticaに代わって違法な支払いをすることが疑われるのなら、それが本当かどうか調査し、支払いをやめさせる義務があります。疑いがある場合は、法務部またはコンプライアンス部に報告してください。

Q3: 国によっては、Celesticaの商品を購入してもらう前に、顧客に対して謝礼を渡すのが慣習だと言われました。事業機会を失わないために、金銭を渡すべきでしょうか？

A3: いいえ、渡してはいけません。Celesticaは、不適切または違法な支払いが必要な取引には応じません。要求される支払いが容認されるかどうか分からない場合は、法務部およびコンプライアンス部に相談してください。顧客、お客様の代理人や従業員（またはその家族）を含む全ての人に対する事業機会の獲得を目的とした贈答、賄賂、心付け、リベート、不適切な支払いや要求に気付いた場合は、すぐに法務部またはコンプライアンス部に報告してください。



利益相反の可能性の例：

- サプライヤー、競争相手、顧客、販売店等を含むCelesticaの取引先との間に経済的利害関係がある場合
- 法人財産や情報、あるいは役職を通して知り得た機会に付け込んだり、個人的利益のためにこれらを利用する行為
- 配偶者あるいは近親者、あるいは親しい人物がCelesticaの顧客、サプライヤー、あるいは競合他社に勤めている場合。このケースは特に注意が必要であるため、上司に相談してください。
- Celesticaと競合する企業の従業員として、あるいはコンサルタントとして助言を行ったり、当該企業に勤めている場合
- 競合する商品やサービスの宣伝広告を行う等、Celesticaの事業利益と対立する活動に従事している場合
- Celesticaの承諾なく、Celesticaのサプライヤーの代表として発言したり活動する場合
- Celesticaの承諾なくサプライヤーあるいは競合他社の役員に就任している場合
- Celesticaの業務時間内に、Celesticaの敷地内で副業に従事する行為
- 電話や備品、資料、リソース、機密情報等Celesticaの資産を副業に利用する行為

私は公務員との関係を適切に保ちます。

Celesticaは、商業環境における一般的な習慣とされるやりとりが、公務員とのやりとりにおいては不適切であったり、違法となる可能性があることを理解しています。一例として、公務員に対する贈り物や食事、娯楽などの接待を禁止している規制があります。私は、政府、顧客、サプライヤーとの関係に適用される法規制をよく理解し、これを遵守することが私の責任であることを理解しています。

私は利益相反を避けます。

私は仕事をする上で、必ず Celesticaの利益を最大限に守る行動を取ります。利益相反は、私個人の利益や関係が、会社に最善の利益をもたらすための決断能力を阻害する、あるいは阻害するように見える場合に起こります。利益相反は、私が客観的かつ効果的に職務を遂行することを妨げるような行動を取ったり、あるいはそのようなことに利害関係を持つ場合に起こります。Celestica以外の会社で雇用される場合、それがCelesticaに対する自分の責任と利益相反したりCelesticaでの業務遂行の障害になってはなりません。[利益相反と個人的な人間関係に関するポリシー](#)に則って、利益相反リスクが生じそうな場合にマネージャーにきちんと報告することは私たちの責任です。

私は地域社会に貢献します

地域社会参加はCelesticaのバリューの重要要素です。奉仕や金銭の寄付を行うことで、自分が所属するコミュニティへの積極的な参加が奨励されています。



しかし、時によって私の地域社会参加が Celestica にとって不利益を招く要因になることがあるかもしれません。私は、社会参加にも十分気を配って、常に会社の利益を最大限に追求することを最優先する責任があります。例えば：

- 営利団体や非営利団体の役員を務める場合、Celesticaに関する意思決定に際して利益相反が生じる可能性があります。私は、自分が役員となることを希望する団体がCelesticaと何らかの関係がある場合、役員就任が利益相反とならないかどうかをまずは上司に相談します。
- 私が公的な問題について発言する時は、一個人として発言または行動するものであり、Celestica を代表あるいは代弁していると解釈されないよう気をつけます。
- 政治活動に参加するため、無給の休暇を取る場合には、上司の承認を受けなければならないことを理解しています。選挙に立候補する、公選職に就く、選挙活動を行うための時間に対し、Celesticaは給与を支払わないことを理解しています。

私は環境保護に努めます

私たちは一人ひとりが環境保護に責任を負っています。私はすべての環境基準を遵守し、またCelesticaの環境保護ポリシーに従います。私は、もし環境法の違反あるいは疑わしい行動を目撃した場合は、即座に報告します。

私は良き企業市民たるCelesticaの評判を守ります

私は社内外において倫理規範を守り、ビジネスが公正かつ倫理的に行われるよう、パートナー企業と協力して業務にあたります。私たちはRBAのメンバーの一員として、電子機器業界の共通した行動規範を遵守します。RBAとその加盟企業と共に、私たちは業界における環境保全と職場環境の向上に取り組めます。私たちは、内部および外部の監査アセスメントを通して、RBA行動規範の遵守を維持します。

環境規則の違反にはこのような例があります：

サラは Celestica で有害産業廃棄物の取扱と適切な廃棄を担当しています。サラはこの作業に膨大な費用がかかることをよく承知しています。下水に流してしまった方が余程楽で、しかも安く済むのに…。ある日、サラは苛立ちのあまり本当に有害廃棄物を下水に流してしまいました。適切な手段で廃棄しなかったことで、サラは環境保護規制に違反し、給排水をひどく汚染しました。

社有資産の保護

機密および専有情報の例

- ・ 事業、財務、マーケティング、サービス等の計画書
- ・ 給与データや医療記録等の従業員の情報
- ・ 顧客名簿
- ・ 顧客あるいは見込み顧客データ
- ・ 著作物、特許物、企業秘密、製造手順、ソフトウェア等

機密および専有情報を守るために私にできること

- ・ 許可なしに機密情報をCelestica外の人物に開示しない
- ・ 機密情報の他の従業員への開示は、正当な事業目的の理由がある場合にのみ、関係者に限り開示する。
- ・ 開示されることで競合他社の利益になりうる、あるいはCelesticaに損害を与えうる情報については、すべて機密とする。
- ・ 機密書類は鍵のかかる場所に保管する
- ・ 電子的に送信する秘密情報は、暗号化してから送信してください。パスワードで暗号化された場合は、パスワードを別のメールで送ってください。

Celestica では、私たち一人ひとりが会社の資産や私たちに託された情報を紛失や損害、不正使用、盗難から守る責任を負っています。私は、絶対にCelesticaの資産あるいは情報を、法律あるいは会社のポリシーに違反する目的で利用しません。

私は会社の資産に配慮し、守ります

私は、資金や商品、機材類、システム、施設、備品等の Celesticaの資産は、事業やその他の目的で幹部の承認を得た内容にのみ利用が許されていることを理解しています。私には、会社の資産の盗難や紛失、不正使用を直ちに上司あるいは現場の警備担当者に報告する義務があります。私は、就業時間内に、過度の私用電話やEメール、ソーシャルネットワーキングツールの利用等、職務責任を果たす妨げになる私的な活動を行いません。私は、会社のコンピューターやEメールシステム、機材等を、事業目的以外、または他者が不適切、不快、失礼だと感じるような内容の閲覧、作成、保存、送信などの違法行為・倫理に反する行動に絶対に使用しません。私は、ソフトウェア等を含む第三者の資産は、すべてがSCM・資材担当部門を通してのみライセンス取得あるいは購入できることを理解しています。従業員は、Celesticaの情報リソースの使用に関するAUP(利用規定)を熟知しておく必要があります。本ポリシーに関する質問は、グローバル情報セキュリティマネージャーまで問い合わせてください。

資産の例

- ・ 会社の資金
- ・ 会社の商品
- ・ 事務用品
- ・ 従業員の勤務時間とその成果
- ・ コンピューターハードウェアシステムおよびソフトウェア
- ・ 電話
- ・ ワイヤレス通信機器
- ・ コピー機、FAX
- ・ 社用車
- ・ 会社の商標
- ・ 印刷文書



私は個人情報を尊重し、機密および専有情報を安全に守ります

Celesticaでは、私たちは同僚やビジネスパートナー、顧客、サプライヤーの個人情報を尊重します。毎日の業務の中で、私は同僚や顧客、サプライヤー、あるいはCelesticaの個人情報や事業情報を閲覧する可能性があります。これらは機密かつ専有情報であり、私には適正なラベリングを行ったり、安全な場所に保管したり、業務上必要な人員のみがアクセスできるようにする等の手段を講じてこれを守る責任があります。私は事業展開にあたって正当な目的がある場合のみ、これらの情報を収集、利用、また処理します。毎日の業務の中で、私は同僚や顧客、サプライヤー、あるいはCelesticaの個人情報や事業情報を閲覧する可能性があります。私は、適切な事業上の目的にのみこれらの情報を収集、利用、または処理します。私は、個人情報保護の関連法律や業界のベストプラクティスに従い、常に責任を持って個人情報を取り扱い、不正開示が行われないよう細心の注意を払います。私の、Celesticaの専有情報の機密性を保持する義務は、私の雇用期間終了後も継続します。

私は Celestica が私の個人情報を保護していることを理解しています

通常の事業活動において、Celesticaは会社の仕事に従事する、あるいは従事する可能性のある従業員の個人情報を収集・保管します。私は、業務上正当な理由がある場合に、私の個人情報が国内あるいは海外に送信される可能性があることを理解しています。私は、私の個人情報が、手当申請の申請や正当な調査、あるいは法的に提出を求められた場合を除き、私が承諾した場合のみ第三者に開示される可能性があることを理解しています。

機密および専有情報の不適切な開示には以下の例があります：

顧客になる見込みのある相手が、Celesticaに商標登録された消費者向け新商品の見積を請求しました。サイトツアー中、その顧客は近く発売されるその商品についてメアリーに話し、メアリーはそれを画期的な商品だと思いました。彼女は興奮し、その商品のことを友人である技術ジャーナリストに話しました。情報を開示したことで、メアリーは機密保持の義務に違反し、商品の発売を危うくしました。

顧客情報を安全に守らない例はこのようなものです：

ディーンはCelesticaの顧客に関する専有情報の収集を担当しており、普段は非常に注意深くファイルを取り扱い、オフィスを出る時には鍵のかかる引き出しにしまっています。ある夜、ディーンは娘のダンスの発表会に行くため急いでいたせいで、うっかり顧客情報が記載されているファイルを開いたまま机に置きっぱなしにしてしまいました。ディーンは顧客の非公開情報を安全に守るという責務を怠りました。

法遵守、個人の責任説明 および違反

不適切な情報開示の例：

スコットはCelesticaの四半期決算が、過去3四半期に比較して飛躍的に伸びたと知って喜んでいました。業績を上げた会社に所属している誇りと興奮で、彼は親に電話をし、会社の株を追加購入するよう勧めました。それは、四半期の決算報告が一般公開される1週間前でした。スコットは重要情報を不適切な形で開示しました。

国際的企業として、私たちの会社はさまざまな法律や規則、規制の対象になっており、どこで事業を行うにしても、法規制を遵守する必要があります。Celesticaの社員として、私は法律の専門家である必要はありませんが、私の職務に関連した法律、規則、規制を理解・遵守し、助言をいつ求めるべきかを知っておく必要があります。

私は株式公開会社の従業員としての自分の責任を理解しています。

Celesticaのような株式公開会社には、法律や条令によって規定された公開会社としての義務があります。Celesticaの従業員として、私は業績予想の修正、決算報告、リストラ、M&A、経営陣交替、新商品等 Celesticaの株価に影響を及ぼす可能性があります。なおかつ一般にはまだ公開されていない機密情報にアクセスすることがあります。これらには、他の株式公開会社の株価に関連した情報も含まれることがあります。私は Celestica に関する「重要情報」を、自分自身または友人や家族を含む他者の金銭的利益のために絶対に開示したり利用してはならないことを理解しています。

企業の非公開「重要情報」を知っている場合、Celesticaを含むいかなる企業の有価証券の売買、売買の提案、または売買の助言をすることは違法であるということも理解しています。Celestica 株の売買が禁じられている他、私は Celestica の取引先企業の株の売買についても禁じられる場合があることを理解しています。例えば、Celestica による他社の買収計画が進められていることを私が知っている場合、その情報が一般公開されるまで、私はその会社の有価証券等の売買はできません。

不明な点がある場合は、コーポレートディスクロージャーポリシーと[インサイダー取引ポリシー](#)を調べるか、compliance@celestica.com にEメールを送信します。

インサイダー取引に関する法的規制に加えて、私は Celestica が特定の期間に私の Celesticaの証券の取引を制限するポリシーを定める可能性があることを理解しています。私は、これらのポリシーに沿って行動する責任があることを理解しています。



私は安全かつ倫理的な環境で仕事ができることを誇りに思います。

Celesticaは、私たち全員に対して、安全で倫理的な職場環境を提供することに注力しています。Celesticaは、従業員のために以下の行動を行っています。

- 従業員に対して現地法律の定める最低賃金以上の賃金を支払っていること
- 従業員全員に対して法律の定める手当を支給していること
- 労働の強制や年季奉公、奴隷労働などが一切行われていないことが保証されていること
- 最低雇用年齢を遵守していること

私は国際貿易管理法を遵守します

私がCelesticaの従業員として輸出入に関係する職務に従事するまたは関与する場合、私には、適切な許可の取得、搬送、書類作成、報告および記録の保管手順等を含むすべての関連法令をよく理解し、これを遵守する責任があります。私は、すべての現地および国際貿易管理法を常に遵守することを誓約します。輸出入に関して分からないことがある場合は、私はCelesticaの輸出入ポリシーおよびプロシージャを参照するか、あるいは内部、または外部の専門家チームに指示を仰げばよいことを知っています。

私はこれらを遵守しないことによって生じる結果について理解しています。

私たちは、全員が法律やBCGを含むCelesticaのポリシーを遵守する説明責任を負っています。私は、この義務を怠った場合、Celesticaが最も重い処分として即時解雇を含む懲戒処分を科すことがあることを理解しています。私の言動がBCGに違反している場合、法律にも違反している可能性があります。私は、これらの違反が私に対する起訴や懲役、罰金等に繋がる可能性があることを理解しています。私は、法律違反があった際に、Celesticaが当局に全面的に協力することを理解しています。更に、会社が損害を被った場合、Celesticaはその責任を負う個人または団体に対して、法的救済策を求める権利を有していることを理解しています。

貿易管理法違反の例：

ジョンは海外に輸送する貨物の書類を作成しており、急いで出荷を完了しようとしていました。彼は輸送前の原産国確認を怠り、誤った情報のまま貨物を輸送してしまいました。ジョンの不正確な書類は、輸出入規則に違反しています。

隠さずに話し、助けを求める

私には違反を報告する義務があります

私には、Celesticaの倫理規範に従う義務があります。Celesticaは、必要なガイダンスを提供し、質問に答え、複数の報告手段を用意しています。懸念される言動に関わったり、気付いたり、自分が法律、BCG、Celesticaのその他のポリシーに違反したと疑われる場合は、上司に対し、またはEメール (compliance@celestica.com) もしくは倫理ホットラインを通じて、速やかに問題を伝えることができます。これにより、Celesticaは、法律違反を犯したり、その健全性、セキュリティ、評判を危険に晒す前に、問題に対処して是正することができます。

BCGは、私たちの行動や決断の指針となるべく作成されましたしかし、法令や倫理的問題に関係する決定や状況は、多くの場合複雑であり、不明瞭で分かりづらいこともあります。そういった場合に備えて、私には分からないことを問い合わせたり、問題と思われる言動を報告したりする際に選択肢があります。以下はその選択肢です：

1. **上司に相談する。**上司はあなたの質問や懸念事項についていつでも話し合いに応じてくれます。
2. **「オープンドア」ポリシーを利用する。**私は、どの幹部にも、人事部の代表者にも、自分のもつ懸念を内々で伝えるために、気兼ねなく相談することができます。
3. **倫理ホットラインに電話する。**内部で報告することに気後れやためらいを感じる場合は、私はこのサービスを利用して匿名で報告することができます。倫理ホットラインに懸念事項を報告できます。このサービスは現地語で利用でき、24時間年中無休で、独立した第三者機関によって運営されています。
4. **ウェブベースの報告システムを利用する。**自分の懸念事項を上司や人事課の担当者に直接報告することに抵抗がある場合は、私は安全なウェブベースのオンラインツールを利用して倫理ホットラインにアクセスすることができます。このサイト (www.ethics.celestica.com) は、独立した第三者機関が運営しており、現地語で、24時間年中無休で利用できます。



効果的な報告

Celestica は、不適切な言動の可能性のある報告すべてを真摯に受け止め、極秘に調査し、BCGあるいは法律に違反する行為かを判断し、適切な是正策を講じます。私が BCG 調査に関わった場合、私は全面的に協力し、質問には正直に、そして完全に答えることが求められます。

BCG違反と思われる出来事や言動を目撃した場合、私は以下を含む関連する事実を正確に報告します：

- 不正行為疑惑の説明
- 当事者および当該行為の影響が及んだ従業員の名前
- 出来事の発生日および場所
- 関連書類 (Eメール、記録、報告書等)

報復行為の禁止

Celestica は、懸念事項および BCG や法規制に違反する可能性を正しく認識する従業員を高く評価します。私は、Celestica が、自分の良心に従って BCG あるいはその他のポリシーへの実際の違反行為またはその疑義を報告した人や、報告された違反の調査に協力したり支援した人に対する一切の脅迫、報復、復讐を禁止していることを理解しています。私は、知っていながら虚偽の情報を提出したり、あるいは虚偽の告発を行った従業員に対して、Celestica が懲罰処分を科す権利を有することを理解しています。私が禁止された行動や活動に従事した場合、私は自身の行動を報告することが奨励されており、その場合、Celestica は、自ら名乗り出たことを考慮して懲戒処分内容を決定することを私は理解しています。



倫理ホットラインの利用方法

電話での報告では、名乗る必要はありません。インタビューの専門家があなたの報告を文書にまとめて提出し、この情報を元に Celestica が調査を行います。

地域別の連絡先は、以下をご覧ください。

地域	電話番号
中国	400-1204-132
香港	800-964214
インド	000-800-050-3378
インドネシア	0800-140-1913
アイルランド	1-800-903-377
日本	0066-33-11-2505 00531-121520
韓国	00798-1-1-003-8571
ラオス	www.ethics.celestica.com
マレーシア	1-800-80-8641
メキシコ	00-681-6906
フィリピン	1-800-1322-0416
ルーマニア	001-800-913-4998
シンガポール	800-1204201
スペイン	900-876041
タイ	001-800-12-0665204
アメリカおよびカナダ	1-888-312-2689

最新の連絡先については、以下のリンク先をご覧ください:

www.ethics.celestica.com

あなたのお住まいの地域が一覧にない場合は、以下の手順で倫理ホットラインにご連絡ください:

1. 外線で現地のオペレータ(電話交換手)におかけください
2. 米国の番号503-726-2457への料金受信者払い通話またはコレクトコール(地域によって異なります)をご依頼ください。倫理ホットラインでは、すべての料金受信者払い通話あるいはコレクトコールを受け付けています。お住まいの地域でこれらの通話サービスが提供されていない場合、国際電話料金ががかかりますのでご了承ください。
3. オペレーターが通話者の名前を尋ねたら、個人名ではなく会社名をお答えください。